

**ポーラ化成工業、国際化粧品技術者会連盟(IFSCC)世界大会で「最優秀賞」を獲得
口頭発表基礎部門で『月経周期におけるニキビ悪化と皮膚抗菌ペプチド hBD-3 の関連性』が受賞**

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:岩崎泰夫)は、10月27日～30日にフランス・パリで開催された第28回国際化粧品技術者会連盟(以下IFSCC)世界大会において、口頭発表基礎部門で「最優秀賞」を受賞しました。

IFSCCは2年に1回開催される世界中の化粧品技術者・研究者にとって最も権威のある学会で、今回は口頭発表で78件の発表案件が最先端化粧品技術を競い、その中からポーラ化成工業の論文テーマが選ばれました。ポーラ化成工業の同大会のアワード受賞は7度目で、前回の2012年ヨハネスブルク大会に続いて2大会連続となりました。



IFSCC 口頭発表基礎部門で最優秀賞を受賞した後藤悠研究員

受賞論文概要

■論文タイトル:『月経周期におけるニキビ悪化と皮膚抗菌ペプチド hBD-3 の関連性』

英文名: Antimicrobial peptide human beta defensin-3 (hBD-3) as a key factor for acne flare-up during the premenstrual stage

発表者: ポーラ化成工業(株) 肌科学研究部 肌分析研究室 後藤 悠 (ごとう はるか)

■論文概要

月経前のニキビの悪化に悩む女性が多いものの、その機序はよくわかっておらず、適切なケア方法は提示できていません。

本研究では、月経前に増加する女性ホルモン(プロゲステロン)と、表皮が産生する抗菌ペプチドに着目して研究を行った結果

- ① 皮膚抗菌ペプチドの一種であるヒトβ-ディフェンシン-3(hBD-3)が、ニキビの主要な原因菌であるアクネ菌に対して抗菌活性を示すこと
- ② 月経前に増加する女性ホルモンであるプロゲステロンが、ヒト表皮細胞のhBD-3発現を低下させること

を見出しました。このことから月経前のニキビ悪化には、アクネ菌に対する抗菌活性を持つhBD-3の発現がプロゲステロンにより低下することが原因の一つと捉えられ、本研究成果を活用することで、より効果的なニキビケア化粧品の提案につながると考えています。

IFSCCについて

IFSCCは、世界で最も権威ある化粧品学会で世界47ヶ国が加盟し、2年に1回学術大会を開催しています。世界のトップレベルの化粧品技術者達が最先端の化粧品技術を発表するいわば化粧品業界のオリンピックともいえるものです。応募論文発表はIFSCCの厳正な審査を受け、選ばれたものだけに許されます。

今回はフランスでの開催となり、口頭発表78件、ポスター発表464件がそれぞれの新規性や優秀性を競いました。

【参考】ポーラ化成工業によるIFSCC世界大会受賞歴

2014年	パリ大会	最優秀賞(口頭発表基礎部門)
2012年	ヨハネスブルク大会	最優秀賞(ポスター発表部門)
2008年	バルセロナ大会	最優秀賞(口頭発表基礎部門)
1998年	カンヌ大会	最優秀賞
1996年	シドニー大会	優秀賞
1994年	ベネチア大会	最優秀賞
1986年	バルセロナ大会	優秀賞

【参考】他部門の最優秀賞について

■Applied Research AWARD
New strategy for the protection of consumers: a functional film limiting exposition to fragrance allergens
A. Léopoldès de Vendôme¹, J. Paris², A. Cabin-Flaman³, J. Seigneuret¹, J. Etienne¹
¹ Alban Muller International, ² Payan Bertrand, ³ Science Faculty, Rouen University, ⁴ ATN Conseil - France

■Poster AWARD
Novel approach to anti-aging facial skin care through reconstruction of "dermal anchoring structures" to improve facial morphology
T. Ezure^①, N. Kosaka^②, E. Yagi^③, J. Hosoi^③, S. Amano^③, K. Matsuzaki^③, T. Ochiya^③
^① SHISEIDO Co., LTD., Yokohama, Japan
^② National Cancer Center Research Institute, Tokyo, Japan
^③ St Marianna University School of Medicine, Kanagawa, Japan